

＜解体撤去基本方針＞
敷地周囲の塀や門扉(敷地入口の土間コン及び北端側溝含む)を残し、それより敷地内側にある建物や土木構造物(設備含む)を全撤去し再生砕石にて埋戻し及び整地を行う。
整地後地盤は敷地入口あたりを水上とし、北及び東側の現状地盤へ擦り付けること。






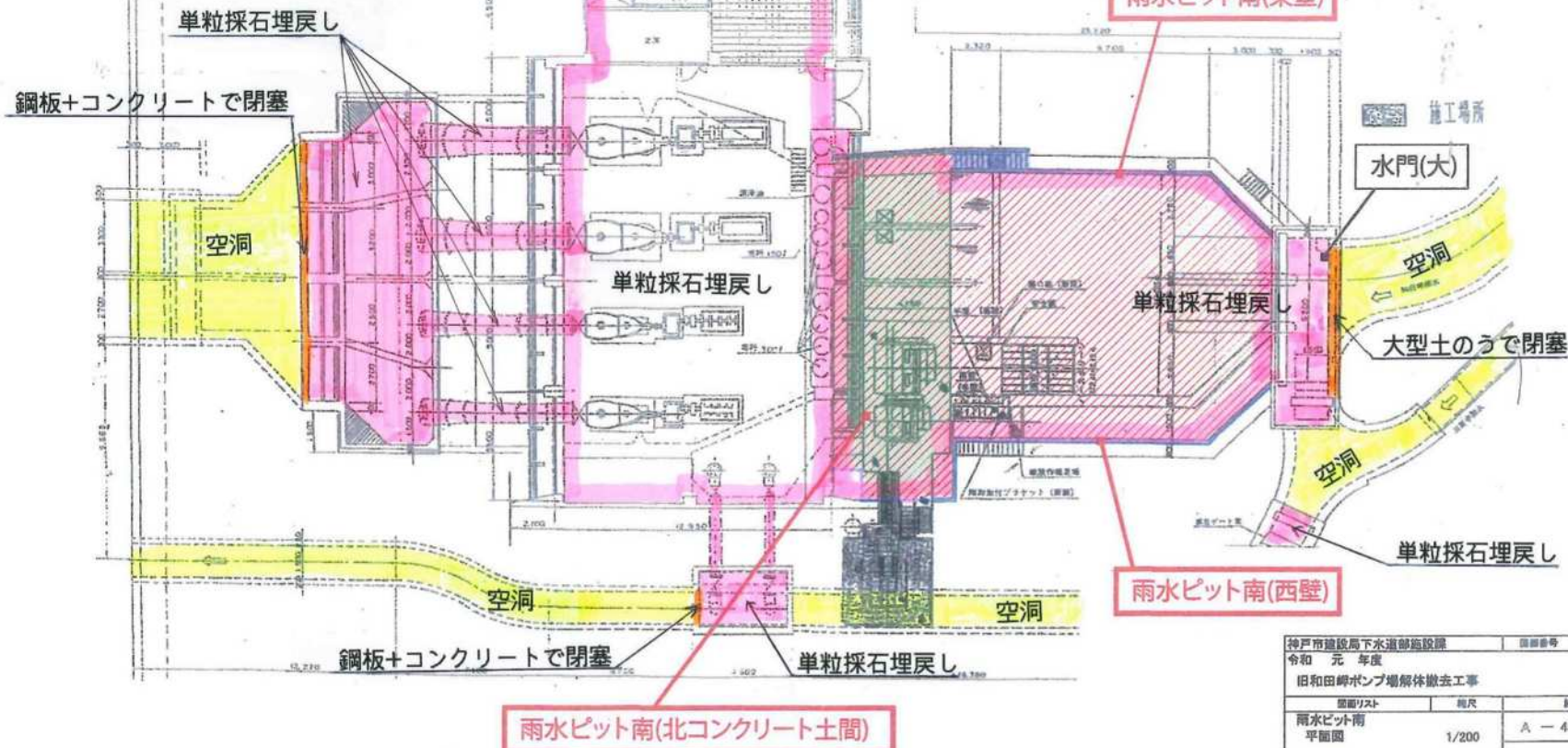
和田岬ポンプ場平面図

S=1/200

- 解体撤去条件
- ・既設GL-500mmより上部を全撤去(設備・配管含む)とする。
 - ・既設GL-500mmより下部は解体・撤去せず、空洞部へ再生砕石埋戻しとする。
 - ・たまり水は、水質検査を行い監督員が指導する水質規定値に達してから下水道へ放流する。

凡例

-  雨水ピット南部分
-  解体撤去範囲1
-  解体撤去範囲2



神戸市建設局下水道部施設課		図面番号	A83
令和 元 年度			
旧和田岬ポンプ場解体撤去工事			
図面リスト	縮尺	施設番号	
雨水ピット南 平面図	1/200	A - 4520 - 00	